

様式 4

令和 3 年度 第 2 回学校関係者評価報告書

鳥取県立米子工業高等学校
校長 松川 明義

評 価 日	令和 4 年 1 月 2 8 日 (金)	
	評 価 ・ 提 言	学校の所見・改善策等
<p>1. 今年度の自己評価について</p> <p>(1) 重点目標の達成状況</p> <p>全体としては落ち着いていると思うが、遅刻の多い生徒や基礎学力が低い生徒が気になる。平均に満たない生徒にコツコツ取り組む大切さを理解させることが、社会に貢献する人材を育成する上で大切だと思う。</p> <p>テクノボランティアやベンチの寄贈、ラジオ体操の会場提供など地域に貢献する取組に感謝している。また、小学校の運動会や体育の授業におけるグラウンド・体育館の利用、合同避難訓練や出前授業など連携できる部分は引き続きお願いしたい。</p> <p>時間外勤務の削減は難しい問題であるが、業務改善などで解消されることを願う。</p> <p>(2) 説明・公表について</p> <p>課題研究の取組みや難関資格試験取得などは生徒募集にも繋がる良い情報なので、マスコミを活用し積極的に発信してもらいたい。また、マチコミメールを活用し保護者が学校HPへアクセスする仕掛け作りを検討して欲しい。</p> <p>2. 今年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった事業もあるが、実施できるものについては工夫をしながら取組んでもらいたい。3年生の課題研究全体発表会が中止になったのは非常に残念である。</p> <p>3. 取組改善のための提言</p> <p>遅刻回数を集計する場合、やむを得ない事情を入れるべきかどうか再検討する必要がある。</p> <p>SPI への取組と基礎学力の向上の関係性は、わかりにくいと感じる。来年度入学生から導入される Chromebook を活用し、生徒が取り組みやすいものを検討しても良いのではないか。</p>	<p>生徒に「勉強することが必要」と感じさせることが大切だと認識している。新たな仕掛け作りを検討する。</p> <p>今後も継続して地域に貢献する活動に取り組む。</p> <p>保護者等に学校HPへアクセスしてもらうための仕掛けの1つとして、今年度から米工MAKER Sを作成している。QRコードを印刷するなど、学校HPへアクセスしやすいようにする。</p> <p>県外研修旅行は今年度も実施できなかったが、日帰り代替旅行が実施できた科もあった。コロナ禍においても取組める事業は積極的に実施する。</p> <p>支援を要する生徒への対応が近年増加している。生徒個々の事情も変化しているので、遅刻の集計方法については検討する。</p>	